

**平成21年度**

# **授業改善犬山プラン**

**—少人数学級・少人数授業  
を通して自ら学ぶ力を育む—**

**犬山市小中学校長会  
犬山市教育委員会**

## 1 基本的な考え

- (1) 犬山の教育は、自ら学ぶ力を柱と位置づけ、人格の完成をめざす。そのため、学級編制や教育課程の編成などについて学校現場に裁量を委ねることによって責任と権限をもたせ、幅広い人間性と幅広い学力を形成するとともに、教師の資質・能力の向上を図り、学校の活性化を図る。
- (2) 自ら学ぶ力を育むために、少人数学級及び少人数授業・TT授業、複数学級による合同学習など、一人ひとりに目の行き届いたきめ細かい指導と多様な学習活動を可能とする学級編制を学校の裁量を尊重し取り組む。
  - ア 学習集団と生活集団が一致する少人数学級は、子ども同士、教師と子どもの人間関係を築きやすく、個に応じた指導を容易にすることなどから、子どもが主体の「学びの授業」を創造する学習環境として、少人数学級を推進する。
  - イ 少人数学級に少人数授業・TT授業を組み合わせ、人格形成と学力保障に最も有効な学習環境を、学校の学級編制の工夫改善と市費負担教員の採用により実現する。
- (3) 県費負担教員による小学校1、2年生の少人数学級に加え、平成21年度より中学校1年生にも拡大されるのを機に、限られた予算の中で、少人数学級による授業改善の熟成と、少人数学級と少人数授業が相互に機能するバランスの取れた学級編制を学校裁量により進める。特に中学校においては、生徒の発達段階や独自の教育課程、教科担任の担当可能授業時数等から学級集団としての適正人数について弾力的に考え、柔軟な対応に努める。
- (4) 全ての子に等しく学ぶ機会と環境を保障していく観点から、普通学級に在籍し特別支援を必要とする子どもたちへの指導の充実を図るために、特別支援教育支援員の増員を図る。平成20年度は、小学校の小規模校を除く7校に対して3名を配置したが、本年度は4名を増員し、特別支援教育の一層の充実を図る。

## 2 「授業改善犬山プラン」の歩み

- ① 平成13・14年度に少人数授業やTT授業等を本格的に取り入れ、「学びの学校づくり」にふさわしい学級編制を工夫し、授業改善に取り組んできた。
- ② 平成15年度には、3小学校（城東小1年・羽黒小6年・楽田小4年）が学校裁量による少人数学級編制を行い、過大学級を解消した。
- ③ 平成16年度には、少人数学級・少人数授業等も併せて行う「授業改善犬山プラン」を策定し、学校の裁量により、教務主任・校務主任等を学級担任とする少人数学級編制を行い、2学年程度までの過大学級の解消を可能にした。その結果、9校（小学校5校・中学校4校）で合計14学級の少人数学級編制を実現した。
- ④ 平成17年度も前年度同様8校（小学校4校、中学校4校）で合計12学級の少人数学級編制が実現した。17年度末、東京大学の協力を得ながら子どもや保護者、教師を対象に実施した「教育改革システム評価」においても、少人数授業・少人数学級への評価は高いものとなっている。
- ⑤ 平成18年度も、30人学級の実現を目指して検討を進め、10校（小学校6校、中学校4校）で合計18学級の少人数学級編制が実現した。さらに市職員の勤務時間等の条例改正をまって、7月1日より1小学校に市費負担教員1名（市費非常勤講師からの切り替え）を配置した。

- ⑥ 平成19年には、更なる30人学級実現のために、8名の市費負担教員と55名の非常勤講師（内、保健室指導助手2名）を配置し、11校（小学校7校、中学校4校）で合計25学級の少人数学級編制が実現した。
- ⑦ 平成20年度には、7名の市費負担教員（中学校での配置1名）と非常勤講師56名（内、保健室指導助手2名）を配置し、11校（小学校7校、中学校4校）で合計21学級の少人数学級編制が実現した。また、特別支援教育支援員3名を小学校7校へ週2～3日の割合で配置をした。

### 3 平成21年度「授業改善犬山プラン」の具体的内容と犬山市の支援

- (1) 学習集団と生活集団が一致する学級規模の人数は、30人が節と考え、市費負担教員採用につき少人数学級（上限32人）を実施する。中学校においては、生徒の発達段階や教育課程の内容等を考慮し、上限を32人～35人と弾力的な学級編制を可能とする。  
なお、小学校で32人、中学校で35人を超える場合、学校運営全体を考慮し学校の裁量を尊重する。
- (2) 小学校の県費負担教員による1年生、2年生の35人学級を考慮し、教務主任・校務主任が担任をもちつつ、市費負担教員の活用により少人数学級を実現していく。中学校においては、県費負担教員による1年生への35人学級拡充を考慮し、教員定数内で現在学級担任をしていない教諭（学年付き教諭、校務・教務主任など）が担任をもちつつ、市費負担教員の活用により少人数学級を実現していく。
- (3) 少人数学級を生かした授業改善と少人数授業やTT授業などを組み合わせ、創意工夫ある授業の展開をめざす。
  - ア 少人数授業等で培われた指導法や教材づくりの成果を最大限に生かし、全教科、全領域で学習集団と生活集団が一致する少人数学級のよさが生かされる授業改善を進める。
  - イ 市費非常勤講師による20人以下の学習集団による少人数授業を継続し、個に応じた柔軟な指導方法の開発（小学校算数で15人から20人、中学校の英語、数学で16人から20人）と子どもの学びを促す教材づくりの研究を一層進める。
  - ウ 理科非常勤講師による探求する楽しさと豊かな実験、観察による理科のTT授業を継続する。
- (4) 発達障害者等の特別な支援を必要とする児童生徒の自立と、それを取り巻く児童生徒との学び合いの授業を実現するため、特別支援教育支援員を小学校へ配置する。
- (5) 学校運営に関わる人的支援
  - ア 大規模校への保健室指導助手を配置する。
  - イ 校務支援者を学校の要望に応じて配置する。
- (6) 市費負担教員等の配置に当たって
  - ア 市費負担教員や非常勤講師の活用については、どの学年・どの教科を重点的に行っていくかは、各学校の裁量に委ねる。
  - イ 各学校は、平成21年度学校運営の全体構想の中に市費負担教員や非常勤講師、特別支援教育支援員等の運用と役割を明確に位置づけ、「平成21年度学校運営計画案」を作成する。
  - ウ 教育委員会は、その計画をもとに、県費少人数授業加配の状況や市全体の状況を考慮しながら犬山プランを作成し、学校へ人的な配置をする。

◇:市費常助 ○:教務・校務及び県費職員 □:県費35人学級増

小学校	学年 人数 学級数	学年						児童数合計								
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	学級合計	増設							
犬山北小	予想児童数	79	2	81	0	87	0	90	1	106	2	98	2	548	19	3
	1学級最大人数	27		27		29		30		27		33				
	35人 40人 学級数	2.3	2.0	2.3	2.0	2.2		2.3		2.7		2.5				
	学級数	□	3	□	3		3	○	4		3		3			
犬山南小	予想児童数	81	0	92	2	85	2	89	1	81	1	91	1	526	18	0
	1学級最大人数	27		31		29		30		27		31				
	35人 40人 学級数	2.3	2.03	2.6	2.3	2.1		2.2		2.0		2.3				
	学級数	3		3		3		3		3		3				
城東小	予想児童数	130	3	146	4	124	5	112	1	120	3	110	3	761	24	1
	1学級最大人数	33		30		31		38		30		28				
	35人 40人 学級数	3.7	3.3	4.2	3.65	3.1		2.8		3		2.8				
	学級数	4	□◇	5		4		3	○	4		4				
今井小	予想児童数	2		6		5		6		8		4		31	4	0
	1学級最大人数	2		6		11		12		1		1				
	学級数	1		1		1		1		1		1				
栗栖小	予想児童数	3		0		4		4		2		5		18	3	0
	1学級最大人数			3				8				7				
	学級数			1				1				1				
羽黒小	予想児童数	84	2	106	2	89	1	114	1	90	1	82	0	572	20	2
	1学級最大人数					30		29		30		28				
	35人 40人 学級数	2.4	2.1	3.03	2.7	2.2		2.9		2.3		2.1				
	学級数	3	□	4		3	◇	4		3		3				
桑田小	予想児童数	124	4	121	0	162	1	146	2	141	1	139	2	843	28	3
	1学級最大人数	31		31		33		30		29		28				
	35人 40人 学級数	3.5	3.1	3.5	3.03	4.05		3.7		3.53		3.5				
	学級数	4		4		5	◇	5	○	5	◇	5				
池野小	予想児童数	12	0	11		12		11		9		16		71	6	0
	1学級最大人数	12		11		12		11		9		16				
	学級数	1		1		1		1		1		1				
東小	予想児童数	83	0	81	1	101	2	96	0	115	2	101	0	582	20	2
	1学級最大人数	28		27		26		32		29		34				
	35人 40人 学級数	2.4	2.1	2.3	2.03	2.5		2.4		2.9		2.5				
	学級数	3		3	○	4		3	◇	4		3				
犬山西小	予想児童数	105	0	93	1	93	1	113	1	111	0	105	1	624	21	3
	1学級最大人数	27				31		29		28		35				
	35人 40人 学級数	3.0	2.6	2.7	2.3	2.3		2.8		2.8		2.6				
	学級数	◇	4		3	3	◇	4	○	4		3				
計	児童数	703		737		762		781		783		751		4517	163	14
	学年学級合計	26		28		26		28		28		27				
	学年別学級増加数	2		2		1		3		5		1				

年 度	学級増対応						市非常勤講師		県少人数加配		特別 支援員	
	担任			支援			授業	保健	常勤	非常		
	校務	教務	県費35	校務	教務	経費						
20	1		1		1		4		1		2/5	
21	1		2		1		3		1		1	
20	1				1		3		1	2	2/5	
21	1				1		3		1	1	1	
20	1			2	1		4		1	1	2/5	
21	1		1	/	1		4		1	1	1	
20	①				1		1					
21	①				1		1					
20	①				1		1					
21	①				1		1					
20	1	1			1	1	4		1		2/5	
21	1		1	/	1		2		1	1	1	
20	1		1	1	1	1	6	1	1	1	3/5	
21	1			2	1		5	1	1	1	1	
20	①				1		1					
21	①				1		1					
20	1			1	1		4		1		2/5	
21	1			/	1		3		1	1	1	
20	1	1			2	1	4		1		2/5	
21	1			2	1		3		1	1	1	
20	7	2	0	2	6	10	3	32	1	7	4	3
21	6	0	0	4	7	10	0	26	1	6	4	7

中学校	学年 人数 学級数	学年			生徒数合計					
		1年	2年	3年	学級合計	増設				
犬山中	予想生徒数	231	2	247	2	236	0	718	20	1
	1学級最大人数	33		36		40				
	35人 40人 学級数	6.6	5.8	6.2		5.9				
	学級数	□	7	7		6				
城東中	予想生徒数	183	2	145	1	125	3	459	15	2
	1学級最大人数	31		29		32				
	35人 40人 学級数	5.2	4.6	3.6		3.1				
	学級数	□	6	○	5		4			
南都中	予想生徒数	173	1	167	1	164	2	508	15	0
	1学級最大人数	35		34		33				
	35人 40人 学級数	4.9	4.3	4.2		4.1				
	学級数	5		5		5				
東部中	予想生徒数	107	1	124	2	109	0	343	12	2
	1学級最大人数	27		31		28				
	35人 40人 学級数	3.1	2.7	3.1		2.7				
	学級数	□	4	4	○	4				
計	予想生徒数	694		683		634		2011	62	5
	学年学級合計	22		21		19				
	学年別学級増加数	3		1		1				

児童数合計	
学級合計	増設
6528	
225	19

年 度	学級増対応						市非常勤講師		県少人数加配		特別 支援員	
	担任			支援			授業	保健	常勤	非常		
	校務	教務	県費35	校務	教務	経費						
20	8	2	3	2	7	14	3	54	2	15	12	3
21	6	0	2	7	7	14	0	48	2	13	12	7